



## 05 クラーク記念国際高等学校大阪梅田キャンパス(大阪府)

初出場

■演技タイトル/  
長い雨

■演技内容/歌唱・ダンス・演劇 ■メンバー人数/17人

▼動画はこちら



## 06 大泉桜高等学校(東京都)

6回目

■演技タイトル/  
2020大泉桜高校手話部

■演技内容/演劇 ■メンバー人数/11人

▼動画はこちら





# チーム演技

## 07 聖心学園中等教育学校 (奈良県)

5回目

■演技タイトル／

Love ～愛する人に伝えたい～

■演技内容／ダンス ■メンバー人数／9人

▼動画はこちら



## 08 青森山田高等学校 (青森県)

初出場

■演技タイトル／

「躍動感あふれる青森ねぶた祭」で転校生に笑顔と元気を!!

■演技内容／ダンス・演劇 ■メンバー人数／15人

▼動画はこちら





## 09 熊本聾学校(熊本県)

6回目

■演技タイトル/  
こわいものなーんだ

■演技内容/コント ■メンバー人数/5人

▼動画はこちら



## 10 明誠学院高等学校(岡山県)

初出場

■演技タイトル/  
窓の外には ~やさしい心が一番大切だよ~

■演技内容/歌唱 ■メンバー人数/20人

▼動画はこちら





# チーム演技

## 11 田鶴浜高等学校 (石川県)

7回目

■演技タイトル／

「本当の『平和』の実現へ ～私たちの誓い～」

■演技内容／歌唱・演劇 ■メンバー人数／12人

▼動画はこちら



## 12 真和志高等学校 (沖縄県)

7回目

■演技タイトル／

甦る マブイ (よみがえる魂)

■演技内容／ダンス・演劇 ■メンバー人数／17人

▼動画はこちら





## 13 奈良県立ろう学校(奈良県)

7回目

■演技タイトル／

「I・KI・RU —いのちをつなぐ希望のループ—『銀河鉄道の夜』から」

■演技内容／演劇 ■メンバー人数／4人

▼QRコード



## 14 米子東高等学校(鳥取県)

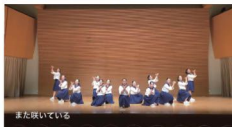
3回目

■演技タイトル／

YELL

■演技内容／歌唱・ダンス・演劇 ■メンバー人数／16人

▼QRコード





## チーム演技

### 15 済美高等学校・松山聾学校 (愛媛県)

3回目・2回目

■演技タイトル／

パンデミック ～緊急事態宣言から生まれた New Life～

■演技内容／歌唱・演劇・漫才 ■メンバー人数／12人

YouTubeはこちら



## 地元高校生による郷土芸能

### 倉吉農業高等学校 倉農太鼓部による「倉農太鼓」

倉吉の打吹に伝わる打吹天女伝説をもとにした 曲目「風打吹流(ふうだすいりゅう)」を披露しました。

YouTubeはこちら





# 大会公式応援ソング

だい かいぜん こくこう こうせい

## 第7回全国高校生

しゅわ しょうしん

## 手話パフォーマンス甲子園

こうしほ ほうしん

## 公式応援ソング

まんどさいん

じぶん

はな

## HANDSIGN「自分だけの花」

作詞：TATSU, SHINGO 作曲：SHINGO

誰にだって辛い時はあるけど  
消えてしまいうそにだってなるけど  
涙の数だけ強くなろう 強くなろう

360度一步も動けない その場で膝をつきそうになる  
下向けば涙上向けば雨が降る  
このまま倒れて墓草にダイブしようかな

心の天気予報 常に曇りマークだったらいいな  
でも暗れになって雨が降って 花は咲くんだ

wow今は前向いて行こうよ とりあえず明日は頑張ろう  
頑張ろう！いい日になるかも

wow今は前向いて行こうよ きっと自分だけの花を  
いつか咲かせよう

あいつは何色？比べすぎて 自分の色さえ分からない  
本音と建前 逸花みたいな世間に  
心と体がこのまま枯れてしまいうそだ

ボキッと折れそうな 今の心にかきツバクを咲かそう  
「必ず幸せはやって来る」 花言葉添えて



wow今は前向いて行こうよ とりあえず明日は頑張ろう  
頑張ろう！いい日になるかも  
wow今は前向いて行こうよ きっと自分だけの花を  
いつか咲かせよう

いつの日かその花を  
たくさん咲かせて花束にしよう  
そして大切なあなたに贈るんだ

誰にだって辛い時はあるけど  
消えてしまいうそにだってなるけど  
涙の数だけ強くなろう 強くなろう

wow今は前向いて行こうよ とりあえず明日は頑張ろう  
頑張ろう！いい日になるかも

wow今は前向いて行こうよ きっと自分だけの花を  
いつか咲かせよう

wow今は前向いて行こうよ とりあえず明日は頑張ろう  
頑張ろう！いい日になるかも

wow今は前向いて行こうよ きっと自分だけの花を



聴覚にこだわらず



# バリアフリー対策

障がいのあるなしに関わらず、誰もが楽しめる大会とするため、様々なバリアフリー対策を行いました。

## ● YouTubeライブ配信

コロナ禍でも大会を楽しむことができるよう、情報保障(手話通訳・要約筆記・音声ガイド)の充実化をはかり、YouTubeでライブ配信を行いました。

### 【手話通訳・要約筆記の配信】

配信画面中に、分かりやすく、見やすいように、手話通訳・要約筆記を表示しました。

### 【音声ガイドの実施】

ステージの様子を実況しながら伝える「音声ガイド」ありなしの2種類の配信を行いました。



## ● 透明マスクの着用

全ての出演者・スタッフが透明マスクを着用しました。

感染症対策を行った上で、コミュニケーションがとりやすい環境としました。



## ● チラシ等への音声コード添付

チラシ、プログラムなどの配布物に内容を音声で読み取りができる「音声コード」を添付しました。



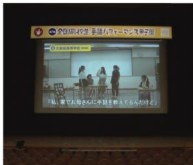


# 新型しん びたコロナウイルスかん せん しょう たい ざく感染症対策

コロナ禍での大会開催にあたり、新型コロナウイルス感染症防止対策を徹底しました。

## ●らいびょうしよ せいげん来場者の制限

会場への来場を、県内の出場チーム及び関係者のみに制限しました。県外の出場チームについては、テレビ会議システムを使い、会場と出場チームをオンラインでつなげ、リモート参加としました。大ホール内の来場者の座席は、前後をずらし、左右2席空けるなど、三密対策を徹底しました。



## ●まस्कの着用 けんおん しよ しじょうどくマスクの着用・検温・手指消毒

全ての出演者・関係者・スタッフのマスク着用の徹底、検温および手指消毒を行いました。また、対面したコミュニケーションが行われる受付には飛沫防止として透明フィルムを設置しました。





## へい かい しご 閉会式

しん さ いんちほくごひょう

### 審査員長講評



審査員長

しょうざき たかし  
庄崎 隆志

受賞された皆さん、本当におめでとうございます。

審査員6名で皆さんの素晴らしいパフォーマンスに、本当に見惚れてしまっていて、全身を使ったパフォーマンス満ち、本当に感動させて頂きました。ありがとうございました。

まず、奈良県立ろう学校の皆さん。前回と今回を比べると団結力がありました。宮沢賢治の有名な「銀河鉄道の夜」という、これをモチーフにした題材で作品を仕上げられました。こちらのアレンジを上手に組み合わせ、練り上げられて、とても良かったですね。手話パフォーマンスの魅力、それが全て出されていました。見る方にその部分が全て伝わったので優勝ということになりました。

続いて、準優勝を取られた、熊本雙学校の皆さん。この15チームの中でしっかりとした安定感が出されていました。というのは手話言語の表現です。こちらが強く安定して、やり取り全てが落ち着いておられました。テーマが「こわいものはなに」っていうテーマだったのですが、一人一人が表情豊かにうまく組み合わせる手話コント、本当にコメディアンのような、映画を見ているような本当にそのような舞台だったと思います。うまく

表現をされました。ですので、準優勝に決まりました。

続いて、第3位沖縄県の真和志高校の皆さん。15チームの中でも、力強い作品に仕上がっていました。手話パフォーマンスについてもそのメリハリ感が伝わってきました。気持ちが良くなりましたね。首里城が火災で焼失してしまいましたけども、そこに向かう気持ち、再進に向けて皆で取り組んでいくという、沖縄らしいエイサーも込めた動きが本当に良かったので、3位となりました。

賞を受賞できなかった皆さんもとても素晴らしい作品に仕上がっていました。是非、来年も再チャレンジしていただくことを心よりお待ちしております。

今回は全国高校生手話パフォーマンス甲子園が開かれるかどうか懸念されていましたが、コロナウイルスが蔓延する中、一生懸命練習を今日まで頑張ってきました。また、鳥取県の方でも準備を進めてまいりました。開催する方向で準備をしていただいたことに対して感謝の気持ちです。

手話パフォーマンスというテーマを大きく掲げ、本当に感動いたしました。受賞したチームと賞を取れなかったチーム双方が今回 Web開催ということで、一堂に会しました。この気持ちをしっかり胸に秘めて、もう一つ住子様から素敵な素晴らしいお話を、お言葉をいただきました。これらも全て皆さんの中に受け止めていただき、今後に繋げていっていただけると本当に嬉しいです。今後またゆめぬ学びを、それから研鑽を積み重ねていただき、手話言語の世界と一緒に融合できたらと思います。また新しい手話パフォーマンスの魅力いっぱいな皆さんからの作品をお待ちしております。

最後になりますが鳥取県の皆さん、スタッフの皆さん、そしてこのWeb開催の進行に携わっていただいた皆さんに対して感謝の気持ちを申し上げます。15チームの皆さんも本当に素晴らしいかったです。

素敵なパフォーマンスでした。本当にありがとうございました。



へいさつ

## 閉会あいさつ



公益社団法人鳥取県聴覚障害者協会 理事長

### しもぞの しのり 下垣 彰則

ただ今ご紹介いただきました、公益社団法人鳥取県聴覚障害者協会理事長の下垣彰則と申します。

奈良県立ろう学校の皆さん、優勝おめでとうございます。素晴らしいパフォーマンスでした。そして、2位熊本養学校の皆さん、3位真和志高等学校の皆さん、おめでとうございます。また、入賞を逃したチームの皆さんも素晴らしいパフォーマンスで、正直言いますと、全てのチームに賞を差し上げたいと思いました。

今回、初のWeb開催で迎えた第7回全国高校生手話パフォーマンス甲子園は、皆さまいかがでしたでしょうか?はじめは、どのような大会になるのか不安もありましたが、高校生の皆さんの熱い思いが、手話言語を通じて観ている私たちの心に伝わり、大変感動いたしました。実際にコロナ禍での外出自粛による、練習不足があったと思いますが、そのような状況を感じさせない、どのチームも素晴らしいパフォーマンスでした。

今後、コロナ禍の社会状況がどの様になっていくのか、わかりませんが、来年こそは、手話言語の聖地、ここ鳥取県で全国の高校生の皆さんをはじめ、審査員の皆さま・観客の皆さまと同じ会場で、この手話パフォーマンス甲子園を盛り上げ、手話言語の必要性や

魅力を広めたいと思います。

大会開催にあたり、多大なご支援を賜りました日本財団の皆さま、並びにご尽力いただきました関係者の皆さまに感謝と敬意を表したいと思います。本当にありがとうございました。

以上を持ちまして、第7回全国高校生手話パフォーマンス甲子園を閉会します。



# 予選審査会

## 日時

令和2年8月13日(木)及び14日(金)

## 会場

とりぎん文化会館(鳥取県鳥取市尚徳町101-5)

## 審査員(4名)



ろう者

審査員長:庄崎 隆志さん  
演出家・俳優



ろう者

審査員:小中 栄一さん  
全日本ろうあ連盟副理事長



聞こえる人

審査員:門 秀彦さん  
絵かき



聞こえる人

審査員:川井田 祥子さん  
鳥取大学地域学部 教授

## 審査方法

各チームから提出を受けたパフォーマンス映像(3分以内)について、審査員4名により審査を行い、本大会に出場する15チームを選出しました。



審査会の様子

## 審査結果は全国へ配信

8月14日(金)に、審査結果及び本大会演技順などを全国に向けてインターネットにてライブ配信しました。



ライブ配信画面・映像の様子





● 広告など

- ・日本海新聞／記事体広告（2回）
- ・日本海新聞／うさぎの耳 1ページ（1回）
- ・日本海テレビ／開催告知テレビCM 15秒（54回）
- ・日本海テレビ／情報番組「スパイス」にて告知
- ・日本海テレビ／24時間テレビにて告知
- ・FM山陰／開催告知ラジオCM 20秒（5回）
- ・Google／Webポスター広告（表示回数 1,772 万回、クリック回数 9,310回）



開催告知テレビCM



日本海新聞／うさぎの耳

● チラシなど



A4版チラシ 参加チーム募集編



A4版チラシ 本大会開催PR編



懸垂幕



B1版／B2版ポスター



うちわ



のぼり／卓上  
大会紹介用



のぼり／  
大会紹介用



横断幕



## しゅわ こらしん どうぞ 手話パフォーマンス甲子園☆動画チャンネル

### ・YouTube動画



大会開催編



出場チームによる  
大会PR編



コロナに打ち克つ  
メッセージ編



大会ダイジェスト編

### ・YouTubeでのライブ配信



8月14日(金)  
予選審査結果発表



9月27日(日)  
本大会



## ホームページ・SNS

公式ホームページサイト、Facebook、Twitter、LINE、YouTubeを活用し、大会情報などを随時発信しました。  
また、LINEスタンプを販売しました。

## 大会ダイジェスト番組

第7回全国高校生手話パフォーマンス甲子園に出場する高校生の青春模様をはじめ、大会の結果や魅力、感動を伝える総集編番組を制作、放送しました。

### ・番組名/



### ・放送日/日本海テレビ

令和2年11月15日(日)16時30分～17時30分

### ・出演者 司会

TATSU (HANDSIGN)/中尾 真重理(日本海テレビアナウンサー)

### ナビゲーター

戸羽 伸一(公益社団法人鳥取県聴覚障害者協会 事務局次長)

### レポーター

中島 諒子(鳥取西高等学校2年)/郡野 愛加(鳥取中央育英高等学校3年)/羽柴 更紗(米子北斗中学校・高等学校2年)





# 第7回全国高校生手話パフォーマンス甲子園 本大会審査実施要領

## 1 概要

- (1)日程 令和2年9月27日(日)
- (2)場所 倉吉市中央センター 大ホール(鳥取県倉吉市)

## 2 審査員

審査員は、ろう者3名及び聞こえる人3名の計6名とし、このうち1名を審査委員長とする。

## 3 審査方法

5の採点方法に基づき、各審査員が各チームの演技を審査、採点し、その合計を各チームの審査得点とする。

## 4 演技時間等

- (1)演技時間は、6分以上8分以内とする。
- (2)演技は、司会者が「どうぞ」演技開始の声をかけを行ったときから開始し、本誌の「ありがとうございました」の手話表現をもって終了する。
- (3)各チームの演技時間の実演は、主催者が計測した時間とする。なお、演技時間の開始及び終了のタイミングは、(2)に基づき(不明確な場合も含め)主催者が判断することとする。
- (4)舞台上に演技時間の経過を示すライト(4色カラー)を設置する。カラー表示は以下のとおりとする。

・演技開始後	→ 白
・6分経過(演技時間下限到達、残り2分前)	→ 青
・7分30秒経過(残り30秒前)	→ 黄
・8分経過(演技時間上限超過)	→ 赤

- (5)演技の準備時間は、概ね1分以内とする。
- (6)演技は舞台上の定められたエリア内で行うこと。また、演技者である生徒以外が舞台上に立つことは認められない。なお、障がい等により、演技を行う際に補助が必要な場合は、舞台上の予備から補助動作を行うことは認める。(合図を出す、リズムを示す、音手通訳を行う)等)

## 5 採点方法

- (1)各審査員が、次の欄に掲げる審査項目を担当項目別に採点する。

審査員	手話言語の正確性・分かりやすさ	演出力・パフォーマンス度	合計
ろう者	30点満点	30点満点	60点満点
ろう者	30点満点	30点満点	60点満点
ろう者	30点満点	30点満点	60点満点
聞こえる人		40点満点	40点満点
聞こえる人		40点満点	40点満点
聞こえる人		40点満点	40点満点
合計	90点満点	210点満点	300点満点

- (2)各審査項目の採点の観点は次のとおりとする。
- ア 手話言語の正確性・分かりやすさ  
手話言語が正しく表現されているか、顔の表情も使って、分かりやすく表現されているか、演技者が表現したい内容が手話言語ではわかり、理解できるか。
- イ 演出力・パフォーマンス度  
チームとしての一体感があるか、観客に寄り添って観客を魅了する表現力、ひたむきさがあがるか、演技者が込めた思いやメッセージがしっかりと伝わってくるか、構成や演出が巧く工夫されているか、演技の構成がスクリーン上の表示に頼りすぎたものになっていないか。

- (3)演技等が次に該当する場合は、当該各号に記載のとおり失格又は審査得点から減点とすることとし、審査員の協議(減点の点数の定めがないものは、その点数も含む。)により決定する。なお、協議の結果、意見がまとまらない場合は、審査員院が決定する。

項目	内容	
	差別的表現、わいせつ表現、特定の個人・団体の誹謗中傷、その他公序良俗に反する内容が含まれる場合	失格
	第三者の権利を著しく侵害する内容が含まれる場合	失格
	審判者である生徒以外の者が舞台上に立ち入り、演技又は演技の補助を行った場合	20点減点
	定められた演技時間の上限を超過した場合(例:8分を超過8分30秒まで → △10点、8分30秒を超過9分まで → △20点)	超過30秒ごとに10点減点
	定められた演技時間の下限(6分)に達しなかった場合	10点減点
	演技上のセリフや手話言語に対応した字幕の表示が不十分な場合	10点減点
	その他、定められたルールに反した場合※	5点減点
	その他、不適切と認められる演技又は行為	失格又は減点

※(その他、定められたルールに反した場合)とは、以下のとおりとする。ただし、その違反の程度が軽微で、特に審査等に影響がないと判断される場合は除く。  
 ・1分を大幅に超えて準備に時間を要した場合。  
 ・スクリーンに表示する内容に動画を使用した場合。  
 ・舞台上の定められたエリア以外で演技を続けた場合。  
 ・演技終了の合図(「ありがとうございました」の手話表現)を全く行わず、演技を終了させた場合。

## 6 表彰チームの決定方法等

- (1)優勝、準優勝及び3位は、審査得点の順により決定する。
- (2)審査得点が同点となり、順位を審査得点で決められない場合は、以下のとおり順位を決定する。  
 ア 手話言語の正確性・分かりやすさの審査項目の高いチームを上位チームとする。  
 イアが同点の場合は、審査員の多数決で上位チームを決定する。  
 ウイが同点の場合は、審査委員長が順位を決定する。
- (3)審査員特別賞は、審査員で協議の上、審査委員長が決定する。
- (4)全日本ろうあ連盟賞は、全日本ろうあ連盟が決定する。
- (5)日本財団賞は、日本財団が決定する。
- (6)鳥取県聴覚障害者協会賞は、鳥取県聴覚障害者協会が決定する。
- (7)その他、上記受賞チーム以外全ての本大会出場チームに手話パフォーマンス奨励賞を授与する。

## 7 結果通知及び公表

- (1)大会終了後、各チームに対し、審査得点、順位及び審査員評(審査員名は非公表)を送付する。
- (2)本大会出場チームについて、チーム名及び審査得点(優勝、準優勝及び3位に限る。)を、大会公式ホームページに掲載する。



# 手話パフォーマンス甲子園実行委員会



実行委員会委員

【オブザーバー】内閣府、厚生労働省、文部科学省

※令和2年11月末日現在

役職	所属・役職名	氏名(敬称略)
会長	鳥取県知事	平井 伸治
委員	一般財団法人全日本ろうあ連盟 事務局長	久松 三二
	日本財団 理事長	尾形 武寿
	公益社団法人鳥取県聴覚障害者協会 理事長	下垣 彰剛
	全国手話通訳問題研究会鳥取支部 支部長	権原 理恵
	鳥取県商工会議所連合会 会長	尾嶋 祥悟
	鳥取県教育委員会 教育長	山本 仁志
	鳥取県福祉保健部長	宮本 剛明

## 監事

役職	所属・役職名	氏名(敬称略)
監事	鳥取県立鳥取聾学校 事務長	廣坂 麗子
	鳥取県会計管理局会計指導課長	古田 慎一

## 企画推進会議委員

役職	所属・役職名	氏名(敬称略)
委員長	鳥取県福祉保健部長兼ささえあい福祉局長	宮本 剛明
委員	国立大学法人筑波技術大学 講師	小林 洋子
	一般財団法人全日本ろうあ連盟 青年部長	吉田 航
	公益社団法人鳥取県聴覚障害者協会 事務局長兼教育・文化委員会委員長	戸羽 伸一
	鳥取県手話通訳士協会	森原 早百合
	全国手話通訳問題研究会鳥取支部	国広 生久代
	鳥取県手話サークル連絡協議会	田中 優子
	社会福祉法人鳥取県社会福祉協議会 常務理事	野間田 憲昭
	鳥取県教育委員会 教育次長	尾羽 英樹
	鳥取県高等学校校長協会 会長	田中 壹
	鳥取県私立中学高等学校長会 会長	二階堂 茂夫
	鳥取県立鳥取聾学校 校長	三王寺 孝子



## 第7回全国高校生手話パフォーマンス甲子園 実績報告書

- 主催/手話パフォーマンス甲子園実行委員会 ●共催/鳥取県、公益社団法人 鳥取県聴覚障害者協会 ●特別協力/一般財団法人 全日本ろうあ連盟
- 後援/内閣府、厚生労働省、文部科学省、倉吉市、手話を含む知る知事の会、全国手話言語市区長会、一般社団法人全国手話通訳指導研究会、一般社団法人日本手話通訳士協会、全国聾学校長会、公益社団法人全国高等学校文化連盟、社会福祉法人朝日新聞学生文化事業団、社会福祉法人 NHK 厚生文化事業団、社会福祉法人全国社会福祉協議会、全国聴覚児を持つ親の会、一般社団法人日本演劇教育連盟、日本障害フォーラム、日本赤十字社鳥取県支部、鳥取県青少年赤十字指導者協議会、朝日新聞社、毎日新聞鳥取支局、読売新聞鳥取支局、産経新聞社、日本経済新聞社鳥取支局、新日本海新聞社、山陰中央新報社、中国新聞鳥取支局、共同通信社鳥取支局、朝日通信社鳥取支局、NHK 鳥取放送局、BS5 山陰放送、日本テレビ、TSKさんいん中央テレビ、テレビ朝日鳥取支局、鳥取県ケーブルテレビ協議会、エフエム山陰、FM 鳥取、DARAZ FM

●協賛/  AKASHI S.U.C.

大塚製薬   鳥取銀行  AEON  社会福祉情報センター

大山町  山陰合同銀行  ANA  ANA 第二システムセンター

●特別協賛/  
Supported by  
  
THE NIPPON  
FOUNDATION

手話パフォーマンス甲子園実行委員会

〒680-8570 鳥取県鳥取市朝日一丁目220番地(鳥取県 福祉保健部 ささえあい福祉局 障がい福祉課内) TEL.0857-26-7682 FAX.0857-26-8136

<https://www.pref.tottori.lg.jp/koushien/> 手話パフォーマンス甲子園 検索